

ベヨネース列岩(明神礁)の火山活動解説資料(平成30年6月)

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

海上保安庁、第三管区海上保安本部によるこれまでの観測で、明神礁付近では火山活動によるとみられる変色水や気泡が時々観測されています。今後、小規模な海底噴火が発生する可能性がありますので、明神礁付近及び周辺海域では海底噴火に警戒してください。また、周辺海域では海底噴火による浮遊物(軽石等)に注意してください。

平成29年3月24日に噴火警報(周辺海域警戒)及び火山現象に関する海上警報を発表しました。その後、警報事項に変更はありません。

活動概況

海上保安庁が14日に実施した上空からの観測では、明神礁付近の海水面に、変色水、気泡、浮遊物、低温部は確認されませんでした。



図1 伊豆・小笠原諸島の活火山分布、
及びベヨネース列岩の位置図
ベヨネース列岩は、東京の南約400km、青ヶ島の南南東約65kmに位置します。

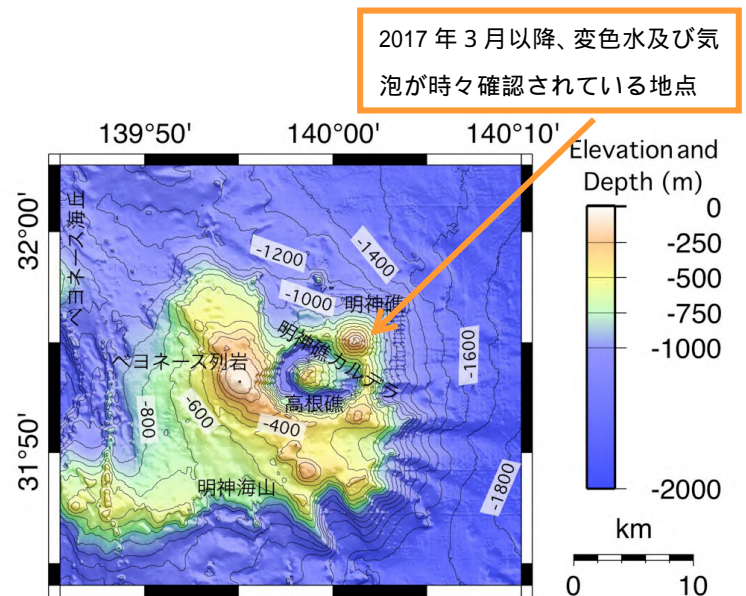


図2 ベヨネース列岩付近の海底地形図と

変色水確認地点()

この地域の活火山名は、ベヨネース列岩、明神礁、高根礁などを含む火山地形を総称して「ベヨネース列岩」と呼んでいます。明神礁の最浅部は水深50m、北緯31度55.1分、東経140度01.3分です。

(日本周辺海域火山通覧(第4版)海上保安庁,2012)に加筆)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ(https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php)でも閲覧することができます。

この資料は、海上保安庁のデータを利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図25000(行政界・海岸線)』を使用しています(承認番号:平29情使、第798号)。